

7/8・9

多様な催しで暑い夏を 楽しんだ2日間

わくわく広場のぼりべつ2017

7月8日(土)・9日(日)の2日間、登別マリンパークニクスの前庭『登別ビーチパーク』で、『わくわく広場のぼりべつ2017』(同実行委員会主催)が行われました。

初日は、幼保一元化施設『コロポックルの森』に通う子どもたちによる『体操と歌による発表会』で開幕。側転やブリッジなどを盛り込んだ元気いっぱい体の操や、童謡『たなばたさま』の斉唱をお披露目する子どもたちの姿に、会場からは拍手が沸き起こりました。

その日の夜には、登別マリンパークニクス内に設けられた特設会場で鬼火が実施され、6人の『湯鬼神』によって夜空へ放たれた手筒花火に、来場者は魅了されました。

2日目は、登別中学校吹奏楽部の演奏やペンギンのパレードなど多様なステージイベントが披露された後、毎年、豪華景品が用意される『大ビンゴ大会』が行われ、最高潮の盛り上がりの中、登別地区の大イベントの幕が閉じました。

好天に恵まれた2日間。来場者は思い思いに夏の祭りを楽しみました。



▲元気あふれる姿を見せた『コロポックルの森』の子どもたち



▲晴天のもと、『大ビンゴ大会』などのステージイベントを楽しむ来場者

この記事の関連動画を次の方法でご覧いただけます。

・URL:
<https://www.youtube.com/user/NoboribetsuOfficial/videos>
・市フェイスブック
・二次元バーコード



一緒に遊びましょう

富岸小学校『世代間交流事業』

6月27日(火)、富岸小学校で『世代間交流事業』(登別市学校支援地域本部実行委員会・富岸小学校主催)が行われ、富岸小学校の1年生57人と地域に住む16人の方は、福笑いや竹馬、竹とんぼなどの昔の遊びを通じて、一緒に楽しい時間を過ごしました。

この事業は、児童と地域の方の交流を図るため、各小学校で実施されており、緑陽中学校区地域教育協議会会長の亀山聖さんは、「昔はいろんな遊びがあった。遊び方を教えますので、自分たちの遊びをつくって、仲間づくりをしてください」と話していました。



▲「私が一番好きなまちであるテキサス州のオースティン市を、皆さんに知ってもらいたい」と話すトーマスさん(左)

ふるさとの魅力を 紹介

第1回国際理解講座

6月22日(木)、市民会館で『第1回国際理解講座』(市主催)を開催しました。

同講座は、市民に国際理解を深めてもらうと行っているもので、平成28年7月から登別市の外国語指導助手を務めるトーマス・ニューパートさんを講師に迎え、43人の方が参加しました。

トーマスさんは、出身地アメリカ合衆国テキサス州の州都であるオースティン市の名物である『オースティンバーベキュー』について、「くん製の香りと柔らかい食感が最高です。一度食べに来てください」と紹介してくれました。

6/27

6/22



▲コツを覚えるのが難しかった『けん玉』



▲世代を超えて白熱した『カルタとり』